

英語II（初級英会話） -中高で習った英語を英会話で使いましょ う！-

単位数		ナンバリングコード	
2		DFL102	
	教員名	Simon Thollar	
	専門	英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、動機づけ一般、教育法	
	出身校等	タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士	
	現職	北海道情報大学 経営情報学部 教授	
授業形態			
前期印刷授業・後期印刷授業・前期IPメディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業			
授業範囲		試験範囲	
教科書の内容すべて		授業範囲すべて 【印刷授業・IM授業：試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。 【IPメディア授業：試験時持ち込み許可物】 辞書（電子辞書も可）のみ	
科目の概要			
<p>この授業は会話が基本です。文法に縛られた英語学習から解放することを意図した講義で、さまざまな場面を想定した表現法を紹介します。e-Learningの場合は、よくchapter movieを見て下さい。わからないことがあれば、すぐに質問する姿勢が大切です。</p> <p>IPメディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。</p>			
授業における学修の到達目標			
この授業は基本の会話を習得することを目標とします。学生は基本的な文法をすでに習得していると思われるので、文法よりも会話(communication)に重点をおいています。			
講義の方針・計画			
<p>全ての講義でテキストを使います。テキストはchapter1からchapter14まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。</p> <p><学習方法></p> <p>(1) chapter dialogue (English Story & Japanese Story)を読む。</p> <p>(2) key sentenceの説明を理解する。</p> <p>(3) student exercisesを解く。</p> <p>(4) 次のchapterにすすむ。</p> <p>(注) 印刷授業の場合はレポート提出の前に、テキストを読み終えておくこと。またレポートの回答はテキストを参考にすること。</p> <p>(注) e-Learningの場合は、chapterの問題/選択問題を必ず解くこと。</p>			

講義の方針・計画

(注) スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。

<ながれ>

- 第1回： Chapter 1 "How you doing?" 挨拶
- 第2回： Chapter 2 "This is Paul." 人と会う
- 第3回： Chapter 3 "You doing anything?" 予定
- 第4回： Chapter 4 "Let's go out!" 招待
- 第5回： Chapter 5 "What can I get you?" 外食
- 第6回： Chapter 6 "Got a tissue?" 持っている
- 第7回： Chapter 7 "Crazy about Eric." 好み
- 第8回： Chapter 8 "Is John there?" 電話
- 第9回： Chapter 9 "What's wrong with me?" 病気
- 第10回： Chapter 10 "Never heard of it." 経験
- 第11回： Chapter 11 "In 2 weeks?" 過去未来
- 第12回： Chapter 12 "I've been waiting." どのくらい
- 第13回： Chapter 13 "Gotta go!" 提案
- 第14回： Chapter 14 "Take care!" 別れ
- 第15回： まとめもう一度 key sentenceを読むこと。(IPメディアの場合、模擬試験)

準備学習

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。

わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。

印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。

(予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。

(復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。

成績評価の方法およびその基準

印刷授業・IM授業 試験：100%

IPメディア授業 試験：55%、ノート：15%、宿題：30% (宿題は学生がネット上で直接に提出します。)

教科書

書名：Simon Says -Basic English Conversation for Young Adults- (第2版)

著者名：Simon Thollar

発行所：丸善プラネット

ISBN：9784863454187

参考書

なし

その他

学習用プリントはありません。

印刷授業のレポート課題は、下記「レポート課題」をダウンロードして表示される案内文書を確認してください。

試験期間

シラバス検索画面トップページ (<https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/>) 下部の「2024学年暦」を参照

学習プリント**教職科目**

情報5の1（66の6）、商業5の1（66の6）、高校数学5の1（66の6）、中学数学5の1（66の6）

関連受講科目

なし

担当教員の実務経験

Simon Thollar:

Native speaker

Published 3 text books

Taught over 30,000 university students

Over 10 presentations at international language conferences

Teaching in universities over 30 years

Involved with e-Learning and effective Instructional design for over 25 years

Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.